

令和4年度普及活動アルバム

北アルプス農業農村支援センター

令和4年度は、5月25日の降ひょうによって東山部の果樹、野菜に被害が発生したほか、夏の記録的猛暑や台風による降雨、10月下旬の寒気流入による低温など厳しい栽培環境下での農産物生産となりました。

基幹作物である水稲は、作況指数が「99」（中信地区）と収量の低下を最低限に抑えることはできましたが、胴割れ米発生等から1等米比率は96.3%となり、品質面での課題を残した年となりました。

また、重点活動として新たに近年生産が拡大している白ネギについて、圃場整備実施地域の意欲的な大規模稲作経営体を対象に、水稲との複合経営による収益力向上を目的に、モデル圃場の設置と検討を行いました

一般活動では、担い手の確保・育成をはじめ、スマート農業の推進、地域特産品の振興等に取り組みました。



【通年】【重点課題】

水田農業における大規模白ネギ栽培技術の確立による産地育成

管内の大規模水田経営法人とJA・全農長野・市場関係者と連携し、モデルほ場を3か所設置し、現地検討会や収穫機・管理作業機の実演会を開催するなど、水田経営への白ネギ導入の利点や課題を検討しました。



【通年】

「農村女性セミナー」開催

管内の5市町村で、その地域の伝統行事や食文化を実際に体験できるよう、経験豊富な農村生活マイスターを講師に迎えてセミナーを開催しました。

全4回に受講生のべ31名、関係者のべ54名、計85名の参加がありました。

受講生の内1名が新規マイスターに認定され、マイスターの育成に成果が出ています。



**【6月】
インボイス制度に対応するための取り組み支援**

令和5年10月から、インボイス制度が実施されることを受け、今後の取引等が適正に行われるよう、農業経営者を対象にして研修会を開催しました。

また、確実な対応が図られるよう相談対応を行いました。



**【7月】
カイゼン活動による支援**

経営体Aでは、精米の際に精米機から発生する米ぬかが室内に飛散し、室内が汚れることで衛生上の問題となっていました。そこで、経営体Aとチーム員により精米室内の現状把握を行いました。

経営体Aの創意工夫により、精米機周りを改造し、米ぬか飛散防止装置を自作設置し、精米室内を整理、整頓しました。



【8月】大豆の高位生産安定

現在管内で約90ha栽培されている「すずほまれ」は、令和5年から新品種「東山231号（すずみのり）」に転換することを契機に、新たに採種事業が開始されました。農事組合法人 堀之内では、約143aの採種事業に取り組みました。

8月6日には異茎抜き、病害虫防除対策について現地研修会が開催されました。



**【8月】
「のらのら」の
スマート農業研修開催支援**

大町市内の若手水稲経営者の会「のらのら～No rice No life～」では、会員11名を対象として、畦畔のリモコン除草機の実演会を開催しました。

4機種が実演され、それぞれの機種の特徴をみながら、今後の導入・活用に向けた検討を行うことができました。



**【8月】
桜仙狭あずきの生産振興**

池田町の在来品種「桜仙狭あずき」の安定生産、品質向上を目指し、技術支援を行いました。播種前に栽培ほ場の土壌診断による適切な土壌改良を行いました。

生育期間には会員と一緒にほ場巡回(点検)を行い、病害虫対策、倒伏対策、湿害及び干ばつ害対策が重要であることを共有しました。



**【9月】
クレソンの活用提案会**

クレソンを地域内の宿泊業者に紹介し、需要拡大を推進するため、地元の司厨士協会の協力を得て開催した。

サラダ、スープ、餃子、パスタ、魚料理のソースを含む6品の作り方が講義されました。

手軽に作れる新しい発想のメニューなので取り入れていきたいと好評でした。

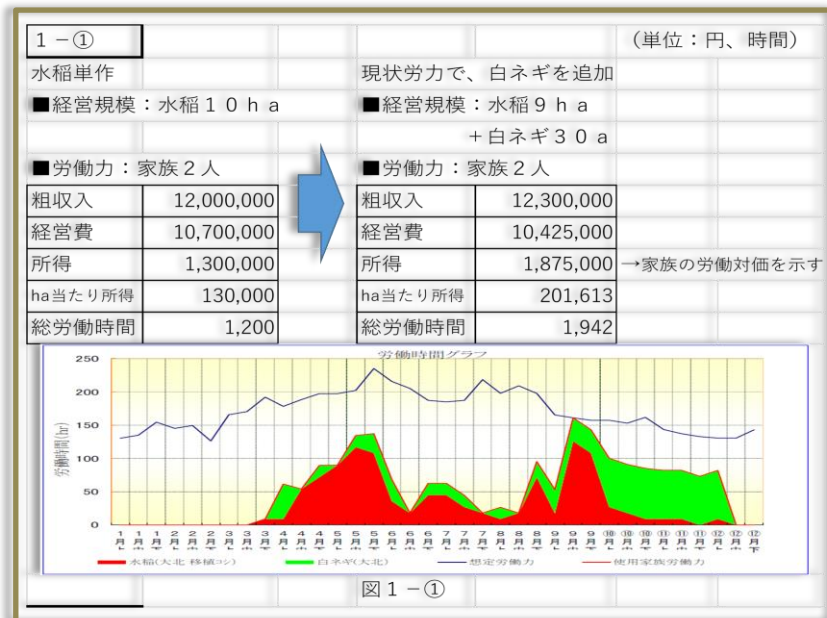


【10月】

青年クラブ活動の支援

「アルプスファーマーズクラブ(通称 AFC))は、前年に続き、白馬岩岳ゴンドラ上において、農産物直売会を開催しました。

コロナ禍でしたが、観光客も多く、焼き芋や茹で落花生などがとても好評で、直接お客様の声も聴くことができ貴重な機会となりました。



【12月】

**経営シミュレーションによる
経営改善支援**

米の価格下落と資材費等の高騰によって米生産農家の所得減少が見込まれる中、高収益作物を栽培品目に取り入れた所得向上と、産地構造強化を図るため、対象経営体を抽出した上で、経営シミュレーションソフト「AGRIX NAGANO」を活用して、対象経営体ごとに「米+高収益作物」について具体的な提案を行いました。



【1月】

北アルプス地域 農ある暮らし

企画振興課や農ある暮らし相談センターと連携し、動画配信による地域の農ある暮らしの魅力発信に取り組みました。

動画制作は白馬村と大町市で活躍されている、移住者を中心に撮影しました。

この動画により、地域の魅力を発信しつつ、農業を身近に感じ、移住のきっかけになることを願っています。